

平成22年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費
 5項 水産業費
 2目 水産業振興費

水産課(内線:7309)
 (単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
内水面漁場外来魚被害対策事業	300	300	0				300	
トータルコスト	1,107千円 (前年度 1,129千円) [正職員:0.1人]							
主な業務内容	漁協が行う外来魚駆除活動への支援							
工程表の政策目標(指標)	漁場資源の増産							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

ブルーギル・ブラックバスの外来魚による漁業対象魚介類の被害を軽減するため、湖山池漁業協同組合が実施する外来魚の駆除活動に対して支援を行い、内水面漁業の振興に資する。

2 主な事業内容

外来魚駆除を目的として湖山池漁協が実施する外来魚の買い取り事業を支援する。

(1) 事業主体

湖山池漁業協同組合

(2) 対象経費

外来魚の買い取りに要する経費

(単位:千円)

(3) 県補助率

1/4 (上限30万円)

総事業費 (補助率)	全内漁連 (1/2)	県 (1/4)	市 (1/4)
1,200	600	300	300

(4) 買取り対象

漁業者等が湖山池で捕獲した外来魚

(5) 買取り価格

大きさ	5cm未満	5~15cm	15cm以上
一尾当たりの価格	5円	10円	20円

3 これまでの取組状況、改善点

- 県内のブルーギル・ブラックバスの生息状況を把握するため、平成18年度に外来種生息実態アンケート調査を実施し、県内のため池466箇所のうち29箇所ブラックバス等を確認
- 湖山池でブルーギルが急増したため、平成17・18年に県と湖山池漁協が共同で、定置網を使った外来魚駆除の実験を実施。定置網による駆除の有効性が確認されたことから、湖山池漁協が定置網による駆除を平成19年度から開始。県は平成20・21年度に駆除活動経費の補助を行った。
- 湖山池漁協の定置網による外来魚の駆除活動への支援から、外来魚の買取制度への支援に変更することにより、漁業者だけでなく、釣り客等の駆除活動参加による駆除意識の高まりが期待される。